

## 学校間連携による部活動（拠点校方式）に関する協定書（例）

- 1 ○○○立A○学校と○○○立B○学校と○○○立C○学校は、下記の計画に従って部活動を実施する。

学校名		部名 (性別・種目)	顧問名 (連絡責任者名)	部員数 (生徒数)	活動場所
拠点校	〇〇〇立A〇学校	〇子 〇〇〇部	〇〇 〇〇	名	A〇学校
関係校	〇〇〇立B〇学校		〇〇 〇〇	名	
関係校	〇〇〇立C〇学校		〇〇 〇〇	名	
技術指導担当者 (顧問・部活動指導員)		〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	(A〇学校 顧問) (A〇学校 部活動指導員)		

### 2 指導体制等

- (1) A校の顧問・部活動指導員（以下「指導者」）、BおよびC校の連絡責任者は、技術指導や生徒指導について十分協議するとともに、それぞれの生徒に対し、部活動実施上の留意事項を十分指導する。
- (2) 技術指導に当たるA校の指導者は、BおよびC校の生徒を指導する場合でも、A校の生徒に対する場合と同様の安全配慮義務を負うものとする。
- (3) 「独立行政法人 日本スポーツ振興センター法」に基づく給付手続きを行う場合は、当該生徒の在籍している学校の校長が処理する。

### 3 連絡体制等

- (1) 指導をA校の指導者に委ねる場合、BおよびC校の連絡責任者は、事前に自校生徒の健康状態等指導上必要な事項をA校の指導者に連絡する。
- (2) 両校の指導者は、その日の活動人数や健康状態等を事前に確認するとともに、活動終了後、実施状況を確認する。

### 4 移動について

- (1) 学校間の移動や下校については、合理的な経路・方法で移動する。

- 5 この協定の内容に変更が生じた場合は、変更点を両校で確認の上、速やかに変更する。
- 6 この協定の定めのない事項については、その都度両校で協議する。
- 7 この協定の有効期間は、協定締結日から実施年度末までとする。

この協定の締結を証するため、A・B・C校は本書を3通作成し、それぞれ記名押印の上、その1通を保有する。

年 月 日

○○○立A○学校 校長 ○ ○ ○ ○ 公印

○○○立B○学校 校長 ○ ○ ○ ○ 公印

○○○立C○学校 校長 ○ ○ ○ ○ 公印